

＝ 普 及 情 報 ＝

No. 12

令和6年3月29日

西部農林水産振興センター益田農業部

標 題	津和野町で新たな稲WCSコントラクター組織が始動！ ～意見交換を通じて深める耕畜連携～
-----	---

(ダイジェスト)

津和野町で、新たにコントラクター組織「(株)フロンティア日原」を中心とした稲 WCS の供給体制がスタートしました。耕種側、畜産側、コントラクター組織が参加する圃場の現地検討会や品質検討会を開催し、安定した品質を目指して意見交換を行いました。

津和野町日原の集落営農法人等で栽培された WCS 用稲をフロンティア日原が収穫調製を行い、当地内の畜産農家（農）京村牧場へ供給する新たな体制が今年度から開始しました。

この体制での供給を始めるにあたり、7月に圃場現地で検討会を開催しました。検討会には耕種農家、畜産農家、コントラクターと農業部、町が参加し、それぞれの立場から収穫前の圃場管理や収穫調製作業、収集・運搬の流れについて意見交換しました。

また、12月には再び関係者が集まり品質を検討しました。調製した稲 WCS を参加者が官能評価し、農業部から報告した成分分析結果と比較しながら品質についての認識を共有しました。畜産農家から今年度の稲 WCS を利用した感想を聞くことで、耕種側でも品質確保の重要性を意識してもらうことができました。その後、今年度の取組に対して意見交換し、それぞれの所感や次年度作に向けての課題を話し合いました。畜産農家からは「要望に応じて収穫調製方法を工夫してもらったおかげで品質が向上した」、耕種農家からは「施肥を改善し収量を増加させたい」などの意見があり、活発な意見交換が行われました。

農業部では、次年度作に向けて栽培管理や計画的な収穫調製技術の向上を支援するとともに、意見交換等を通じた連携体制の強化を目指し引き続き活動していきます。

